

お父さん お母さんも演技を披露

キューブ新体操教室発表会

3月29日、「キューブ新体操教室発表会」がホワイトキューブで開催され、同教室で練習に励む選手やOB、OG、仙台大学の学生など約100人が日ごろの練習の成果を発表しました。この日は、昨年4月に東中学校から名取高校に進学しインターハイなどの全国大会で活躍中の佐藤綾人・颯人・嘉人の3兄弟も演技を披露。また、今年初めて、保護者たちも団体演技を行い、真剣に踊る姿で会場を沸かせました。発表会の最後は、蔵王町在住のシンガーソングライター幹さんの歌う「ハレル夜」に合わせて参加者全員で団体演技を披露しました。



▲団体演技を披露する選手たち

きれいな沢端川を保つために

沢端川周辺などを清掃

3月28日、毎年恒例の「沢端川ボランティア清掃」が沢端川周辺で行われました。この行事は、毎年春と秋、白石城の内堀にあたる沢端川などの土砂上げと補修をするために行っている「川干」に合わせて、平成16年から白石市観光協会と白石商工会議所の共催で行われており、今回で22回目。市内の企業や団体・個人などのボランティア約360人が早朝から集まり、川底や川沿いのごみを拾ったり、周辺の雑草を刈り取ったりしました。

参加者は「これからは花見シーズン。桜にはきれいな沢端川が似合う」と笑顔で話していました。



▲沢端川の川底からごみを拾い集める参加者たち

うーめん体操で元気にダンス！

あきらちゃんコロケくんあそびうたコンサート

3月15日、平成26年度子育て支援事業「ほっぷんちょ」第2弾「あきらちゃんコロケくんあそびうたコンサート」を中央公民館で開催しました。この日は、市内外の親子や子育て応援隊、子育てサポーター「ボッケ」、ジュニアリーダー「キャロル」のボランティアの皆さんなど約140人が来場。あそびうたやダンスを楽しみました。コンサートの最後には、あきらちゃんが作詞作曲した白石のご当地ソング「白石うーめん体操」で多くの子どもたちがステージに上がって元気いっぱいダンス！子どもも大人も笑顔いっぱいの時間を過ごしました。



▲ステージに上がり、あきらちゃんと一緒にダンスする来場者たち

100歳おめでとうございます

片平かめよさんに松竹梅敬老祝金

3月27日、100歳を迎えた片平かめよさんを風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝いました。かめよさんは福岡深谷の出身で、若いころは飲食店で仲居の仕事に従事し、平成9年に特別養護老人ホームえんじゅに入所者第1号として入所。大好きな子どもたちが慰問や面会に来ると素敵な笑顔を見せてくれます。好きな食べ物はロールケーキやおはぎなど。長生きの秘訣は「マイペースに暮らしていることと、生来体が丈夫なのか、入所してからの17年間で病気をしたことは風邪を1度ひいたくらい」と同施設の職員が話してくれました。



▲かめよさんをの長寿を祝う風間市長と藤本邦夫施設長（左）

子どもたちの安全を願って

しろいし母親クラブがストップマーク張り付け

3月14日、しろいし母親クラブ(佐々木とし子会長)が、ストップマークの張り付け作業を行いました。この日は、同クラブの会員など13人が参加。白石第一・第二小学校の通学路の交差点などにストップマークを張り付けました。この作業は、児童たちが交差点など危険箇所ですぐに安全に通学できるようにと平成6年から実施し、今回で21回目。参加した会員は、「このストップマークを見て、急に飛び出したりしないように。新入生も交通安全に気をつけて、通学して欲しいです」と、児童たちの無事故を願いながら張り付けていました。



▲第二小学校前の交差点にストップマークを貼り付ける会員たち

交通安全と長寿を願って

第29回交通安全さくらメール作戦出発式

4月10日、「第29回交通安全さくらメール作戦」の出発式が日本郵便株式会社白石郵便局駐車場で行われました。この作戦は、高齢者を交通事故から守ることを目的に、白石第一・第二小学校の全児童833人が自分の祖父祖母あてに、交通事故防止と長寿の願いを込めたはがきを贈っているもの。峯田進局長は、「児童の皆さんから預かったはがきを確実に丁寧、各家庭にお届けします」とあいさつし、白石地区交通安全協会役員など約60人が見守る中、はがきを乗せたバイク17台が一斉に配達に向かいました。



▲関係者に見守られ配達に向かう局員たち

高校生が「おもてなし」

白石工業高校の生徒が白石城の標柱作成

3月17日、白石城の標柱の除幕式が天守閣北側広場で行われました。今年で開門20周年を迎える白石城。これまでの標柱が傷んできたため、市が白石工業高等学校に新しい標柱の製作を依頼したものです。製作は同校の建築部の部員4人が担当。式では風間市長が「全国からの観光客が見る標柱を皆さんが作ったことを誇りに思って、これからも優れた技術を生かしてください」と挨拶。生徒の一人は「間違いが許されないので緊張しましたが、やりがいを感じました。白石城に立てられたのを見て誇りに思います」と充実感のある笑顔で話してくれました。



▲除幕式後、風間市長などと記念撮影する白石工業建築部の皆さん

まちをきれいに！

市内一斉クリーン作戦

3月29日、春秋の恒例行事「市内一斉クリーン作戦」が市内全域で行われました。平成14年から白石市公衆衛生組合と市が共催で行っているこの行事。今回は7,136人の市民の皆さんがボランティアでごみを拾いました。この日は、可燃ごみ9,740kg、不燃・粗大ごみ5,810kg、資源ごみ5,320kgの総計20,870kgのほか、タイヤ107本、リサイクル家電96台（テレビ53台・冷蔵庫28台・洗濯機15台）を収集。試験的に行った小型家電の回収にはパソコンなど合計265台が集まりました。今後は市内各所に回収ボックスを設置し、小型家電の回収を行う予定です。



▲ごみを拾ったり落ち葉を片付けたりする参加者たち